




各 位

2026年6月26日

会社名  日本タングステン株式会社
代表者名 取締役社長 中原賢治
(コード番号 6998 東証スタンダード市場、福証)
問合せ先 取締役常務執行役員 原口 寿
経営管理本部長
(TEL 092-415-5500)

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、株式会社東京証券取引所が定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の実効性に関する評価を実施いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

各取締役にアンケートを実施し、各評価項目について5段階で評価を行うとともに自由記述欄を設け、意見を聴取いたしました。また、取締役会事務局にてこれを集計し、取締役会において評価結果を報告のうえ、審議を行いました。

<評価項目>

①取締役会の在り方	②取締役会の運営
③社外取締役の役割発揮	④資本市場及び投資家との関係構築
⑤内部統制及び内部監査体制	⑥サステナビリティ経営の推進
⑦事業ポートフォリオの見直し	⑧経営の執行及び監督

2. 前年度(2024年度)実効性評価において認識した課題と取り組みに対する評価

(認識した課題)

- ・ 事業ポートフォリオ戦略や人的資本投資をはじめとする中長期的な戦略テーマに関する議論について、さらに改善の余地があると認識いたしました。

(取り組みに対する評価)

- ・ 「日本タングステングループ2028中期経営計画」の策定にあたり、中期的なビジョンおよび全社戦略・事業戦略について取締役会で議論を深め、対外開示いたしました。
- ・ 投資家との対話や市場評価の分析、人的資本経営に関する議論については、必ずしも十分とは言えないとの意見が出されました。

3. 2025年度の評価結果の概要及び今後の取り組み

当社取締役会は、上記審議の結果、取締役会の実効性について概ね適切に確保されていると判断いたしました。一方で、これまで蓄積された議論の内容や取締役の意見を踏まえたうえで、投資家との対話や市場評価の分析、人的資本経営に関する議論には一層の向上の余地があると考えております。

当社取締役会は、今回の評価結果を踏まえ、持続的成長に向けた戦略に関わる課題や重要な論点に対して、議論のウエイトをより一層高める必要性を認識いたしました。今後も取締役会の実効性向上に向けて、さらなる改善および継続的な取り組みを推進してまいります。

以 上